

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		砂防(火山砂防)		路河川名等	栃木川		
事業毎の通番		1	市町村名	小諸市	箇所名(ふりがな)	菱平(ひしだいら)	
事業概要	事業目的	栃木川は、土石流危険渓流であり、想定氾濫区域には人家142戸および主要地方道小諸軽井沢線、一般県道菱野筒井線がある。栃木川の流域は、地質が脆弱な火山噴出物であり、土石流の発生のおそれが高いため、土砂災害を未然に防ぐことを目的に砂防堰堤を整備する。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等	砂防法		
	関連する事業、計画等						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家142戸、公民館・集会場、県道450m、市道1,414m					
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	84.2	国庫	その他	県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 1基(H=9.5m L=70m V=2,400m <sup>3</sup> )			180,000	99,000	72,900 8,100	
年度事業内容(主な工種)	H27:測量・地質調査・設計			10,000	5,500	4,050 450	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家142戸、公民館・集会場、県道450m、市道1,414m					
	間接的効果(定量的・定性的)	近隣には温泉施設があり、土砂災害による地域観光のダメージを軽減					
評価の視点	必要性	【保全人家戸数】 142戸 【保全公共施設】 公民館・集会場、県道、市道 【保全災害時要援護者関連施設】 なし 【避難場所】 なし				評価	B
	重要性	【災害履歴】 なし 【交通影響】 県道((主)小諸軽井沢線、(一)菱野筒井線) 【位置付け】 地域防災計画に位置付けあり(土石流危険渓流)				評価	B
	効率性	【費用対効果】 84.2 【早期効果発現】 事業期間:5年間 【工法等比較検討】 堰堤配置、形式等について比較検討 【総合調整】 治山事業と調整中				評価	A
	緊急性	【地形地質】 地質が脆弱(火山噴出物) 【流域植生】 倒木多数 【平均渓床勾配・土砂整備率】 勾配:約9.7° ・整備率:0% 【危険地区】 土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域あり				評価	A
	計画熟度	【情報共有】 関係者を中心に周知 【地域要望】 近隣で直轄砂防事業が進められており、事業に対しては協力的である 【地域合意】 近隣で直轄砂防事業が進められており、事業目的については合意形成が図られている 【住民参加】 浅間山噴火に係る避難体制が確立				評価	C
	部意見	当該渓流の保全対象には、人家多数の他、県道が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	行政改革課意見	地質が脆弱で火山噴出物であり、土石流の発生のおそれがあることから、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)		
	【整備の必要性がわかる状況写真等】		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	栃木川は、土石流危険渓流であり、想定氾濫区域には人家142戸および主要地方道小諸軽井沢線、一般県道菱野筒井線がある。流域の地質は、脆弱な火山噴出物であり、土石流の発生のおそれが高い。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	小諸市との現地調査を実施	
	③事業説明等の経緯	事業実施が確定次第、地元説明会を開催予定	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	治山事業と調整中	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事に伴う地形改変を極力少なくするよう計画環境配慮制度対象箇所	
	⑥地域活性化への影響と配慮	近隣には温泉施設があり、土砂災害による地域観光のダメージを軽減する。	
	⑦その他	H22年 土砂災害警戒区域等指定	事業代表地点の緯度経度